

自分たちでつくる新しい学校！ -「たちあらい高校」プロジェクト-

大刀洗みらい研究所 嶋田 美月

●プロジェクトの概要

12~18歳の若者が中心となり、まちの人やまちの資源を活用しながら、自己表現や興味関心を探求できる場をつくる。また、メンバーやまちの人との交流を通して、家や学校以外の居心地のよい場所づくりをめざす。昨年度は興味関心の高い「たちあらいソングをつくる」をテーマに曲づくりに挑戦。今年度は町内の過ごしやすい場所を探すため、フィールドワーク中心の活動を進めている。

1. 背景・目的

〈背景〉・町に遊ぶ場所や勉強する場所がなく、商業施設の設置を求める声を中学生から多く聞く。
・町イベントにおける参加率かなり低い。
・中高生の活躍の場が少ない。

〈目的〉



若者が自由に探求・挑戦できる
魅力的な居場所づくり



4. プロジェクトの内容

【仮説-ステップ①】

放課後に過ごしやすい場所が増えれば、地域に関心を持つきっかけになるのではないか？



〈メンバー〉

1期生…5人（高1）

2期生…4人（中1）

※町外の子も参加可能

〈活動〉月1回程度

・事務局が場所を設定（場所にまつわる情報共有）

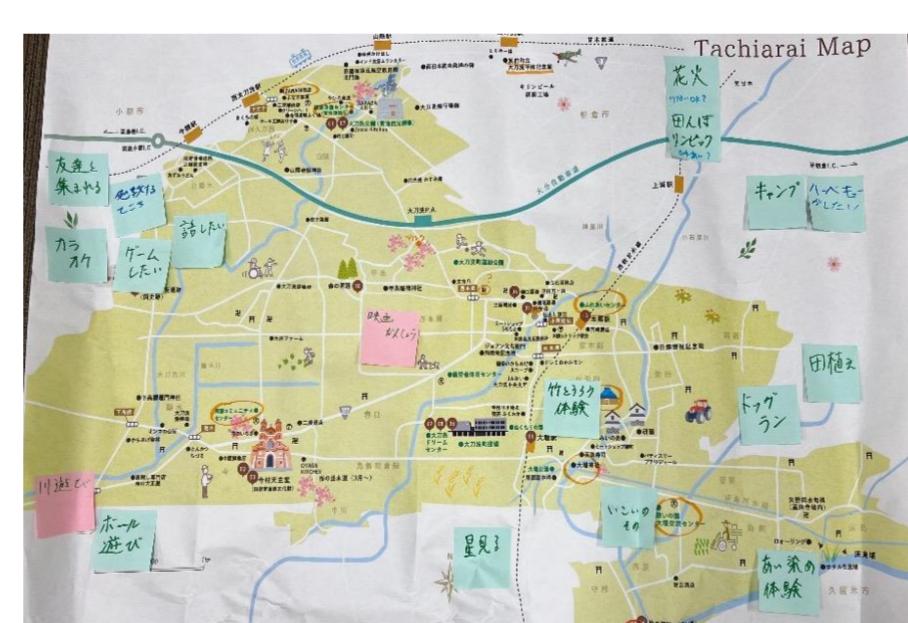
5. 考察

①1/27開催 現状把握

・開かれた場所を知らない。
・やりたいこと、挑戦したいことは多い。



・実際に目で見て考える必要あり。
・マップづくりと並行して、挑戦プロジェクトを進められそう。

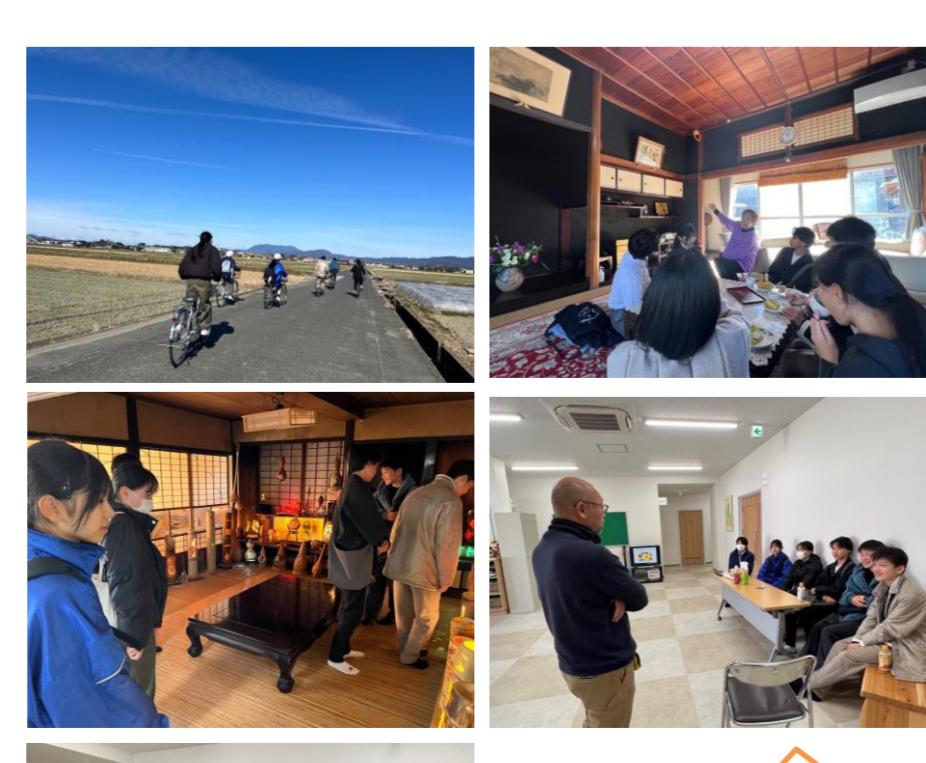


②1/26開催 フィールドワーク

関心度が高かった校区センターを中心に周辺のスポットを事務局側で事前調整。
新規中学生メンバー4人と高校生の融合。



・ピザ窯を活用して夏の夕方から夜にかけてピザ作り体験を開いたら楽しそう
・大刀洗高校主催で年に何度かビッグイベントを開催できたらいいな
など



後日、自分で連絡して、地域のカラオケ大会に参加した子が
ってきた！！
(行動変容)

③2/23開催 マップづくり

前回の振り返りをしながらマップに落とし込む作業日。研究所開催の平田邸で実施する。

2. 役場がこのプロジェクトを行う理由

中高校生の自由な発想や創造力をもって探究・実践することを、町が支援することで、地域全体にぎわいが波及し活性化につながる。

3. 仮説

まちの良さを自分の言葉で伝える中高生が増えれば、シビックプライドの醸成につながるのではないか？

一緒につくろう！

ぼくらの集まる場所マップ

今までの町の中に過ごせる場所はないと思っていたけど、本当はあるのに知らないだけかもしれない。スポットを巡りみんなでアイデアを集めて放課後や休日を楽しく過ごせる理想の居場所マップをつくる。

▷ 裏テーマ

自分でまちに足を運んで地域を知る。
まちの人と話す。

6. 今後の展開

目標

それぞれの過ごしやすい場所で様々なアイデアが沸き上がり、主体的な活動が活発化する。

メンバー募集

・活動をSNSで発信
・チラシ（中学校・高校）
・参加者アンケートの実施

拠点づくり

・フィールドワーク
・企業へ声掛け
・アポイントを学生が実施
・情報発信
・マップの完成

実践の場

・企画会議
・協力要請
・リーダー選出 など